

平成25年度 【 学園研究費助成金< B > 】 研究成果報告書

学部名 文化情報学部

フリガナ トチクボ ユウジ
氏名 柄窪 優二

研究期間 平成25年度

研究課題名 映像ドキュメンタリー制作の実践研究

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	柄窪 優二	文化情報学部	教授
研究分担者			
研究分担者			

1. 本研究開始の背景や目的等 (200字~300字程度で記述)

本研究は大学における映像ドキュメンタリーの制作手法や指導方法を探る実践研究である。映像作品の制作は撮影機材やノンリニア編集の性能向上・低価格化で、市民・学生レベルでも簡単にできるようになった。しかしながら本格的なドキュメンタリー作品は制作が難しく、大学ゼミで制作している例は多くはない。本研究では国内を代表する映像祭への参加を目標に、ドキュメンタリー作品を制作し、制作過程や完成作品を分析して、女子大学で求められる制作手法や効果的な指導方法を探るものである。

2. 研究方法等 (300字程度で記述)

平成25年4月~12月にかけてドキュメンタリー計6本を企画・制作した。これらの作品は代表研究者(柄窪)が企画・取材し、ゼミ学生が部分的な取材や映像編集、ナレーション、選曲・音響効果、字幕スーパー等を担当する形で、卒研ゼミで卒業作品・番外編として制作した。ただし学生の卒業作品は別の作品である。作品完成後、教員と学生、双方の視点で作品を分析・評価した上で、「地方の時代映像祭」や「科学技術映像祭」などのドキュメンタリー映像祭等に出品したり、番組発表会を企画するなどして、外部評価を受けた。こうした制作実践を通して、大学・研究室ゼミでのドキュメンタリー制作の問題点や課題、学生を指導する上での留意的を分析し、女子大学におけるドキュメンタリー制作・映像メディア教育の意義や可能性を考察した。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

制作したドキュメンタリーは下記6作品で、大学 Youtube サイトで公開した。

- ①「絆の駅・石巻～復興3年目の春」(23分45秒)
- ②「地域の絆を再生へ～女川・復興農園の願い」(17分15秒)
- ③「東山ゾウ物語～出産・飼育の舞台裏」(23分15秒)
- ④「私は伝えたい! 風船爆弾～学徒動員・女学生の証言」(18分)
- ⑤「奇跡の鳥・ライチョウ～北アルプス乗鞍岳の保護活動」(16分15秒)
- ⑥「アジアゾウの誕生～東山動物園」(24分、③のリメイク版)

いずれの作品も、大学・研究室の限られた制作環境での「手作り作品」ではあるが、教員と学生、双方の視点で一定レベルのものが完成したと判断し、外部評価を受けた。

まず③「東山ゾウ物語」は10月開催の「知多半島映画祭」に出品した。この映画祭は短編映画を対象に全国から110作品の応募があり、「東山ゾウ物語」はノミネート・上映された6作品に選ばれた。他のノミネート作品は全てプロ・セミプロの作品であった。

次に①②③④の4作品を11月開催の「地方の時代・映像祭」に出品した。その結果、①「絆の駅・石巻」は二次選考・ノミネート、③「東山ゾウ物語」は最終選考・ノミネートされた。また④「私は伝えたい! 風船爆弾」は、11月に「ピースあいち・戦争と平和の資料館」で梶高・放送部と合同で番組発表会を開催した。会場には大勢の市民が来場し、中京テレビ・ニュースや毎日新聞等で記事掲載された。

最後に⑤と⑥を4月開催の科学技術映像祭に出品、⑥「アジアゾウの誕生」は特別奨励賞・受賞が決まった。ドキュメンタリーは企画から取材・編集・仕上げまで、多くの時間と労力を要するので、大学レベルで1年間に5本制作は珍しいケースである。作品は全国的な映像祭で一定の評価が得られ、目標レベルに達していると判断できた。一方、学生への指導は、学生が制作に部分的に参加している現状で今後の課題なども浮き彫りになった。しかしながら学生にとって卒業制作の枠を超え、本格的なドキュメンタリー制作に参加できたことは大きな経験になった。今回の作品は、①②は宮城・石巻、③⑥は東山動物園、④は梶高・放送部、⑤は信州大学生態学研究室と連携・協力したもので、学外連携としての意義も大きい。今回の研究成果をもとに、来年度以降も優れたドキュメンタリー作品の制作をめざして研究を継続したい。

4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①ドキュメンタリー	②映像制作	③地域連携	④動画配信
⑤	⑥	⑦	⑧

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なものの数件を記載。)

(映像作品:インターネット動画公開、上記ドキュメンタリー①～⑤)

椋山女学園大学 Youtube サイト <https://www.youtube.com/user/SugiyamaUniv>

(論文)地域連携によるインターネット情報発信の試みー「バーチャルひがしやま動物園&植物園」サイトの構築、柄窪優二、他3名、椋山女学園大学研究論集 第45号(社会科学篇)2014年3月(発行予定)